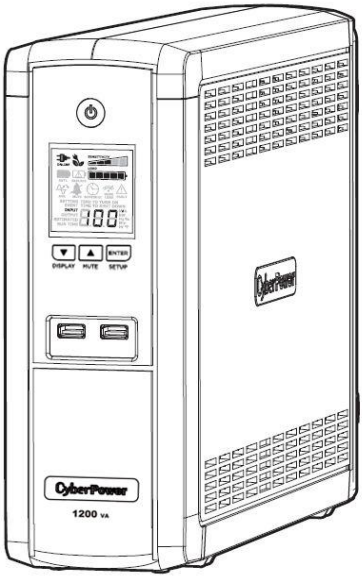
CyberPower®

Reliability. Quality. Value.

BACKUP CR Series

型番: CPJ1200

取扱説明書



K01-0000442-00

ユーザーズマニュアル

目次

1 はじめに……3

2 重要な安全上のご注意……4

3 製品紹介……10

4 設置…… 25

5 接続 ……26

6 運転 ……34

7 バッテリ交換……36

8 故障かな？と思ったら……37

9 仕様……39

10 省エネルギー技術 GreenPower UPS™& Active PFC 対応…40

11 保証規定……41

12 保証書……44

13 安全規格適合宣言 ……44

1 はじめに

この度は、弊社 UPS（無停電電源装置）をお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。

このマニュアルは CyberPower UPS（無停電電源装置）の安全上の注意事項、機能及び操作方法を紹介しています。

本装置を使用する前に、必ずこのマニュアルをお読み下さい。

又、読み終わった後も、必要な時にすぐ読むことができるよう、大切に保管して下さい。

2015 年 8 月　第 1 版

- 本書の内容は予告なしに変更をすることがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写や転写しないで下さい。
- 本書の中で使用している画像の一部は実際の製品と異なる場合がありますが、機能的な違いはありません。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、誤りやお気付きの点、ご不明な点が御有りでしたら、弊社までご連絡下さい。
- 本書に書かれた注意事項を守らずに使用された結果損害が発生しても、弊社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、弊社は責任を負いかねますのでご了承下さい。

株式会社サイバーパワー・ジャパン

2 重要な安全上のご注意

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、本装置をご使用頂く前に必ず以下の注意事項を熟読し、正しくお使い下さい。

尚、当マニュアルには様々な記号を使用していますが、それらの意味は下記の通りです。

各記号の意味をよく御理解頂いた上で、本文をお読み下さい。

記号の説明

⚠ 危険	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
⚠ 警告	誤った取り扱いをした場合、障害を負ったり、物的損害の発生する危険性があります。
⃠ 禁止	安全のために絶対にしてはいけない「禁止」を意味します。
❗ 強制	安全のために必ずしなければならない「強制」を意味します。

基本注意事項

⃠ 禁止
● 本装置は一般家庭、一般事務室におけるコンピュータの周辺機器としての使用を前提に開発されたものです。次のような用途では絶対に使用しないで下さい。 ・全ての医療機器や、生命にかかわるような機器などへの使用 ・人身の損傷に至る可能性のある交通機関、エレベーターなどへの使用 ・レーザープリンタ、シュレッダーなどの大型電気製品や工作機械などへの使用 ・これらに準ずる装置などへの使用

基本注意事項

⚠ 危険
● 感電の恐れがありますので本装置のカバーは取り外さないで下さい。 ● プラグが抜けている状態でも、バッテリから本装置内部の危険な帯電部に通電されていることがあります。 ● 本装置はヒューズまたはブレーカーにより保護された壁面コンセントに接続して下さい。 ● 感電を避けるため、コンピュータコンポーネントをインストールする前に本装置の電源を切り、壁面コンセントから入力プラグを抜いて下さい。

設置に関する注意事項

⚠ 警告
● 設置の際、本装置の前後及び左右に、10cm 以上の空間を設けて下さい。 ● 本装置の通風口は塞がないで下さい。 ● 本装置の上に物を搭載しないで下さい。 ● 本装置を火や火花が発生する恐れのあるものに近づけないで下さい。爆発したり、破裂したりする危険性があります。 ● 火災や感電の危険性を防止するため、温度・湿度制御された室内の、導電性物質を避けた場所に設置して下さい。（仕様欄に記載された使用環境温度・湿度の許容範囲を参照して下さい。） ● 仕様欄に記載された使用環境温度・湿度の許容範囲から外れた場所、直射日光やストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所、屋外や乗り物など振動や衝撃が加わる恐れのある場所、可燃性ガスや腐食性ガス、塩分などがある場所での使用はしないで下さい。 ● 本装置の近くに花瓶や水槽など、水の入った容器を置かないで下さい。結露などによる感電や火災の危険性があります。 ● 本装置をほこりの多い場所に設置しないで下さい。ほこりがたまると、感電や火災の危険性があります。

使用上の注意事項

⚠ 危険
● 使用の前にケーブルやプラグ、出力コンセント、壁面コンセントに破損のないことを確認して下さい。 ● ケーブルやプラグ、コンセントの接続が不完全なまま使用しないで下さい。ショートや発熱により感電や火災の危険性があります。 ● 本装置から異常な音や異常な臭いなど、何らかの異常を感じたときはすぐに停止し、本装置の電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いて下さい。 ● 感電の危険性がありますので、通風口や出力コンセントなどに棒や指などを入れないで下さい。 ● 入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないで下さい。電流の還流によるアークが発生し、火傷や視覚障害などの恐れがあります。 ● 本装置が運転している状態で入力プラグを抜かないで下さい。 ● 本装置の移動は、必ず本装置の電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いた状態で行って下さい。 ● 本装置は内部にバッテリを含んでいます。壁面コンセントに接続されていない場合でも、出力コンセントに電気が出力されていることがあります。

本装置に関する注意事項

⚠ 警告
● 本装置はコンピュータの周辺機器として設計されています。 ● 接続する機器の消費電力の合計が、仕様欄に記載された容量を超えないようにして下さい。 ● トランスやインダクタ等、巻線類の負荷には適合していません。 ● シーケンサなどの工作機械やレーザープリンタ、シュレッダー、複写機、室内暖房器、電気掃除機、排水ポンプ、その他大型電気製品を接続しないで下さい。

バッテリに関する注意事項

⚠ 危険

- バッテリは必ず定期的に交換して下さい。
- バッテリは寿命を過ぎると液漏れをすることがあり、発煙や火災の危険性があります。
- バッテリから液漏れや異臭、発煙など異常が発生した時は、バッテリに触れないで下さい。
- バッテリの液が皮膚に付着したり、目に入った場合はすぐに流水で洗浄して、医師に相談して下さい。
- バッテリの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数等によって大きく変化します。
- バッテリを火の中に入れないで下さい。また、たばこやライター等の火気は絶対に近付けないで下さい。
- バッテリの交換は、必ず本装置の電源を切り、本装置につないでいる全ての機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態で行って下さい。
- 本装置のバッテリ運転中に、バッテリを装置から取り外さないで下さい。
- バッテリの取り扱いは感電や火傷の恐れがあります。バッテリの交換を行う時は、時計、指輪、ネックレス又はその他の金属製品を身体から全て外し、取っ手が絶縁された工具を使用して下さい。
- バッテリの周辺に工具や部品などの金属製品を置かないで下さい。バッテリのコネクタが金属製品に触れると、装置の故障だけでなく、感電や火傷のおそれがあります。
- バッテリの交換をする際は指定された型番のバッテリを用意して交換して下さい。
- バッテリの配線やコネクタは絶対に交換しないで下さい。
- バッテリは使用しなくても自然放電しますので、3ヶ月ごとに 24 時間のバッテリ充電をして下さい。バッテリ充電をしないと、バッテリが使用出来なくなります。

バッテリのリサイクルについて

- 本装置は鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池は貴重なリサイクル可能な資源です。バッテリの交換及び使用済み製品の廃棄を行う際には、鉛蓄電池のリサイクルにご協力下さい。
  - ・本装置のバッテリは、「廃棄物および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されています。むやみにバッテリを廃棄することはできません。
  - ・バッテリの交換及びバッテリのリサイクルの詳細、使用済みバッテリの廃棄については support@cpsww.co.jp よりお問い合わせ下さい。

保守・点検に関する注意事項

⚠ 危険
● 本装置の分解、修理、改造等は絶対にしないで下さい。分解、修理、改造等をすると、正常に動作しなくなるばかりではなく、感電や火災の原因となることがあります。 ● 本装置の分解、修理、改造等を行った場合、又は分解、修理、改造等を行ったと判断された場合は、保証期間内であっても一切の修理、サポートを御断りします。 ● 本装置のお手入れの際は、感電する恐れがありますので、本装置の電源を切り、本装置に接続している全ての接続機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態で行って下さい。 ● 本装置はバッテリを搭載しているため、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分があります。絶対に装置内部には触れないで下さい。 ● 濡れた手で本装置に触れたり、プラグの抜差しをしないで下さい。感電の恐れがあります。 ● 雷が発生した際は、接続された機器やケーブル類も含めた本装置に触れないで下さい。感電のおそれがあります。

⚠ 警告
● 本装置をより長く使用するために、各種 LED やケーブルに異常がないか定期的に点検して下さい。 ● 設置されている部屋の温度や湿度を定期的に点検して下さい。

保守・点検に関する注意事項

⚠ 警告
● お手入れの際は、乾いた清潔な布で拭いて下さい。水を含んだ布や雑巾は、使用しないで下さい。 ● シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や化学雑巾は絶対に使用しないで下さい。

装置の保管について

強制

- 本装置を保管する前に 24 時間のバッテリ充電をして下さい。また、3 ヶ月毎に 24 時間のバッテリ充電をして下さい。
- 乾燥した温度の低いところに保管して下さい。
- 直射日光の当たる場所や熱源の近く、40℃を超える場所では保管しないで下さい。
- バッテリは保管中でも劣化しますのでご注意下さい。
- 本装置の使用を再開する前には必ず十分に充電をして下さい。

生命維持に関する

⚠ 危険

- **概要**
  CyberPower は、方針として生命維持装置に当社のいかなる製品もご使用頂くことをお勧めしません。生命維持装置では、CyberPower 製品の障害や誤動作によって生命維持装置に障害が発生した場合等、それらの装置の安全性や有効性が著しく損なわれることが当然予期されます。CyberPower は(a)ケガや損傷の危険性が最小となっており、(b)お客様がそのようなすべての危険性を承知し、(c)その状況のもとで CyberPower の責任が十分保護されることが書面で十分保証されるまでは、生命維持装置の領域で使用することを承知しながら当社の製品を販売することはいたしません。
- **生命維持装置とは**
  生命維持装置とみなされる装置の例としては、新生児人工呼吸保育器、大人/子供兼用人工呼吸器、新生児酸素分析装置、神経刺激器、自動輸血装置、血液ポンプ、点滴ポンプ、血液透析システム、細動除去器、不整脈検出器および警告器、ペースメーカー、腹膜透析システム、麻酔人工呼吸器、およびアメリカ食物医薬品局が「生死に関わる」と指定したその他全ての装置が挙げられます。

3 製品紹介

セット内容の確認

梱包の箱を開けてセット内容を確認して下さい。梱包の箱には以下のものが含まれています。

不足しているものがございましたら、下記宛ご連絡下さい。

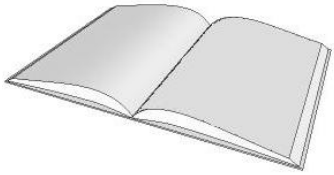
support@cpsww.co.jp

UPS 装置（本体）	1 台
取扱説明書（本書）	1 冊
USB ケーブル	1 本
3P→2P 入力プラグ変換アダプタ	1 個

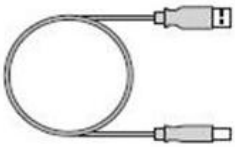
***PowerPanel® Personal Edition 監視ソフトは無料ダウンロードできます**

http://www.cpsww.co.jp/products/software/pppe.htm にアクセスして下さい。

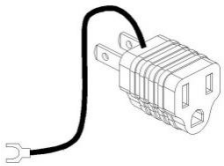
UPS 装置（本体）



取扱説明書

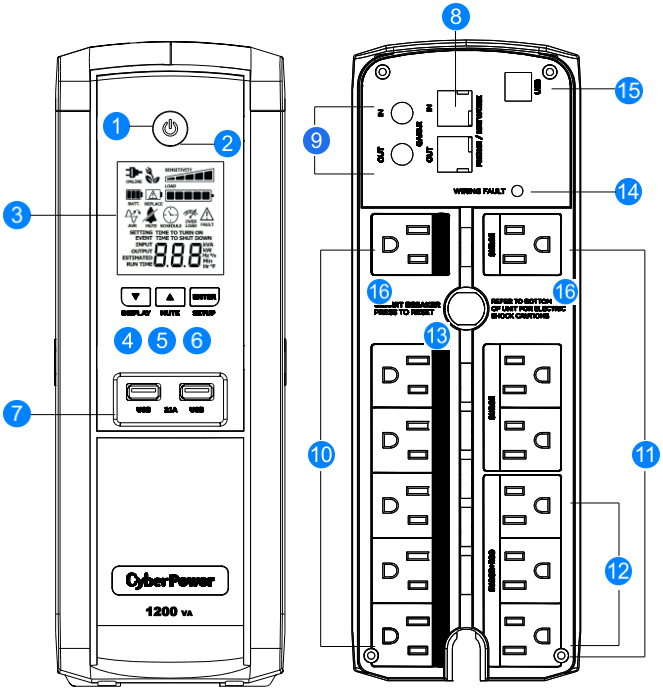


USB ケーブル



3P→2P
入力プラグ変換アダプタ

各部の名称

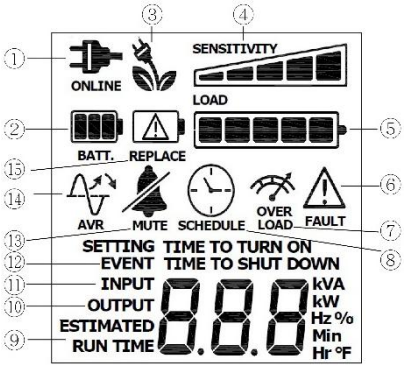


No.	名　称	機　　能
1	電源スイッチ	電源ボタンを押すことでUPSをON（運転）、OFF（停止）にします。
2	パワーオンインジケーター	電源が正常で、UPSのコンセントに電気が流れていてサージやスパイクがない状態の時に点灯します。
3	LCDモジュールディスプレイ	高解像度及びインテリジェントなLCDディスプレイでは、アイコンとメッセージで全てのUPS情報を示しています。詳細については、「バックライトLCDインジケータの定義」セクションをチェックして下さい。
4	▼/DISPLAYボタン	スイッチは、入力電圧、出力電圧及び凡その実行時間等の LCD ディスプレイコンテンツを選択するために使用することができます。ボタンを短く押すと、機能メニューを下方へスクロールします。ボタンを 2 秒間押し続けると LCD ディスプレイは常にオンになります。又は、

		AC/商用電源モードに入っている間、LCD ディスプレイはオフになります。詳細については、「機能セットアップガイド」セクションをチェックして下さい。
5	▲/MUTEボタン	ボタンを短く押すと、機能メニューを上方へスクロールします。ボタンを 2 秒以上押し続けるとミュート（消音）になります。詳細については、「機能セットアップガイド」セクションをチェックして下さい。
6	ENTER/SETUP ボタン	ボタンを 2 秒間押してセットアップメニューに入ります。詳細については、「機能セットアップガイド」セクションをチェックして下さい。
7	USB 充電ポート	スマートフォン等の充電用USB出力ポート（ 5V /2.1A）
8	通信保護ポート	通信保護ポートは標準の電話機、ファックス、モデムの電話線およびLANケーブル（RJ11/RJ45 兼用）を保護します。
9	同軸/ケーブル/DSS サージ保護	同軸/ケーブル/DSSサージ保護ポートはすべてのケーブルモデム、CATVコンバータ、またはDSSレシーバーを保護します。
10	サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）	6 口のバッテリバックアップ及びサージ保護コンセントです。停電時に接続機器の動作を確実に継続します。（レーザープリンタ、シュレッダー、複写機、室内暖房器、電気掃除機、排水ポンプ、その他大型電気製品をつながないで下さい。これらの機器の消費電気量は過負荷となり、装置に損害を与える場合があります。）
11	サージ保護付スルーコンセント（停電時バックアップしない）	6 口のサージ保護コンセントです。バッテリバックアップの機能はありません。このコンセントは電源スイッチのオン、オフにかかわらずに出力します。
12	ECO出力コンセント	余計な周辺機器の待機電力を節約する機能です。 このコンセントに停電時バッテリバックアップが不要な周辺機器（スキャナ・プリンタ等）を接続することにより、UPSがPCのOFF状態をUSB経由で感知、周辺機器への電力供給をOFFにして待機電源をカットします。 注： この機能を活用するにはUPSとPCをUSBケーブルで接続してECOモードをONにする必要があります。 注： 工場出荷時のECOモード設定はOFFとなっており、サージ保護のみコンセントとして動作します。
13	ブレーカー	過負荷や障害防止として機能します。

14	配線障害表示灯 （赤）	このLED表示が点灯した場合、アース不良、アース不足、逆配線等、配線に問題があることを警告します。このような場合、コンセントから全ての電気機器のプラグを抜き、電気技師に依頼してコンセントが適切に配線されているか確認して下さい。表示灯が点灯している場合でも、UPSはバッテリからバックアップを行いますが、アースの不備や不適切なコンセントの配線がされている場合、UPSはサージ保護を行いません。
15	USBポート	コンピュータ～UPS上のUSBポートの接続、通信を行います。UPSはステータスをPowerPanel®パーソナル版ソフトウェアに送信します。USBインターフェースはWindows Vista、Mac OS X及びLinuxで提供されている電源管理と互換性があります。 注意： PowerPanel®パーソナル版ソフトウェアをインストールするには、コンピュータ側の環境として、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降のバージョンがインストールされている必要があります。
16	アダプターサイズ コンセント	この 2 口のコンセントは、ACアダプターが隣接したコンセントに重なることなく接続できる、広間隔コンセントです。

バックライト LCD インジケータの定義



LCD ディスプレイには、さまざまな UPS 操作情報が表示されます。全ての説明は、UPS が1次側（壁側）電源に接続されて UPS 本体電源が ON の状態、及び UPS がバッテリで駆動している状態での説明となります。

1. **オンライン駆動:**

   UPSは接続された機器に外部電力を供給しています。

2. **バッテリ駆動:**

   著しい電力低下又は停電の間、UPSの給電モードが、外部電力出力から内部バッテリ出力に切り替わっていることを表しています。バッテリ駆動中は、「ピッピッ」というアラームが鳴ります。電力低下や停電が長引く場合、アラームは連続して鳴り（バッテリ残量メーターブロック（1 ヶ 20%）表示が残り 1 つになった場合）、UPSのバッテリがほとんど無くなりかけていることを警告します。ファイルを保存し、装置の電源を直ちにOFFにする必要があります。

3. **ECO 出力コンセント:**

   ECO機能をONにすると表示されます。

4. **負荷/感度セットアップ:**

   このメーターは、UPSの凡その出力負荷レベルを(20%刻みで)表示します。

   設定モードに入っている場合、感度セットアップメーターにもなります。

   これはUPSの感度を制御してバッテリモードに切り替えるための機能を果たします。

   感度が高くなるほど、UPSはバッテリモードに切り替わり易くなります。

5. **バッテリ容量:**

   このメーターはUPSの内部バッテリの凡その充電レベルを(20%刻みで)表示します。停電又は著しい電力低下の間、UPSはバッテリ電源に切り替わり、バッテリアイコンが表示され、充電レベルが減少します。

6. **障害アイコン:**

   UPSに何らかの問題がある場合、このアイコンが表示されます。

   ※改善が見られない場合は、CyberPowerに連絡してサポートを受けて下さい。

   support@cpsww.co.jp

   E22: 過負荷障害 （下記 7. の説明に従って対処して下さい）

   E21: バッテリ出力のショート （接続機器を確認して下さい）

   E01: 充電障害

   E23: 内部故障

7. **過負荷アイコン:**

   過負荷になるとこのアイコンが表示されアラームが鳴ります。過負荷状態の場合には、アイコンが消えアラームが停止するまで接続機器を減らします。

8. **スケジュール:**

   PowerPanel® Personal Editionソフトウェアを使用してコンピュータとUPSの電源をONにしたりシャットダウンを行うスケジュールをセットすることが出来ます。LCDディスプレイにはUPSがON又はシャットダウンになるまでの時間が表示されます。

9. **おおよそのバックアップ時間:**

   現在のバッテリ容量と負荷でUPSの凡そのバックアップ時間が表示されます。

10. **出力メーター:**

    通常ラインモードおよびバッテリバックアップモード時のUPS出力電圧を表示します。

    注:出力電圧メーターには、バッテリバックアップコンセントの状態が表示されます。

11. **入力メーター:**

このメーターはUPSの入力（壁側コンセント）電圧を表示します。UPSは自動電圧制御機能により、接続された機器に安定した 100V電力を絶え間なく供給するように設計されています。停電、著しい電力低下、又は過電圧の場合、UPSはバッテリ出力に切り替わり100V電力を供給します。入力電圧メーター:は、粗悪な入力電源を確認する診断ツールとしても使用できます。

12. **イベント:**

このメーターは電源異常の回数を記録します。

13. **MUTE（消音）:**

ミュートモードに入っているとき、このアイコンが表示されます。バッテリ残量が低下するまでブザーは鳴りません。

14. **AVR（自動電圧調整器）:**

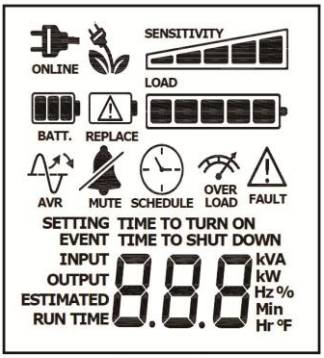
高過ぎたり低過ぎる入力電圧はAVR（自動電圧調整器）によって自動補正されます。実行中はアイコンが表示されます。

15. **バッテリ交換時期警告:**

こちらの警告が表示されましたら交換用バッテリを用意しバッテリ交換を行って下さい。バッテリ寿命が来たら、バッテリコウカンジキとのメッセージが液晶に出ます。交換した後、バッテリサイゴコウカンビを入力してから交換メッセージが消えます。

※詳細については、機能セットアップガイドを参照して下さい。

高度な液晶機能のセットアップ



電源 ON：電源ボタンを長押しすると「ビービッ」という音が鳴ります。ボタンから指を離すと ON になります。

電源 OFF：電源ボタンを長押しすると「ビービビッ」という音が鳴ります。ボタンから指を離すと OFF になります。

▼ (DISPLAY):

(1) (▼): ボタンを短く押して機能/オプションメニューを下方へスクロールし、UPS に関する情報を表示します。

(2) LCD 表示の ON/OFF:（デフォルト設定は OFF です。

ボタンを 2 秒間押して、LCD 表示の有効(ビープ音 1 回) / 無効(ビープ音 2 回)を切り替えます。

バッテリモード時、液晶は常時点灯になります。

▲ (MUTE):

(1) (▲):ボタンを短く押して機能/オプションメニューを上方へスクロールし、UPS に関する情報を表示します。

(2) 警報音: ボタンを 2 秒間押して、警報音の有効(ビープ音 1 回)/無効(ビープ音 2 回)を切り替えます。警報音が無効になっているとき、LCD ディスプレイの消音アイコンが表示されます。

注: デフォルト設定では、アラームは ON の位置にあります。

ENTER (SETUP):

セットアップモード: ボタンを 2 秒間押すと次の 11 の機能にアクセスできます。

商用電源設定

最大出力電圧

最小出力電圧

感度

バッテリ不足警告

セルフテスト

イベントリセット

バッテリ寿命リセット

ECO モード

デフォルト設定に戻す

状態表示

(▼)または(▲)ボタンを短く押して機能を表示します。機能を選択し、ENTER ボタンを押して機能のオプションにアクセスします。LCD が点滅を開始します。

注: セットアップの間に 8 秒間動作がないと、LCD はセットアップモードを終了して状態表示に戻ります。

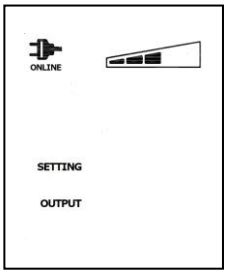
DISPLAY + SETUP ボタン:

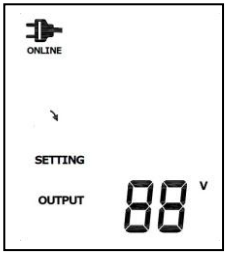
両方のボタンを 2 秒間同時に押すと、イベントカウンタが消去されます(2 度ビープ音)。

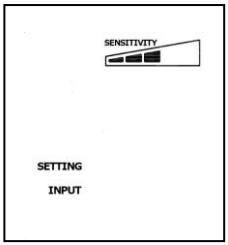
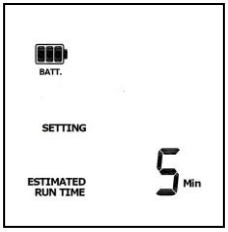
セットアップモードでもイベントカウンターは消去可能です。

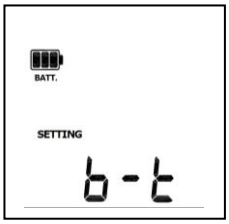
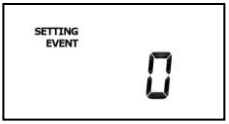
MUTE + SETUP ボタン:

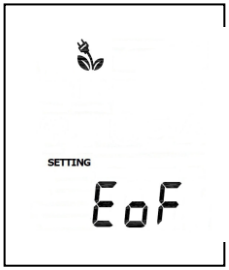
両方のボタンを 2 秒間同時に押すと、バッテリ交換警報が消えます。

機能	LCD ディスプレイ	選択肢	初期設定	説明
商用電源設定	 (CUS)* *カスタム設定: 最小または最大 O/P 電圧のみが設定されます。	弱 (85V-123V) 普通 (88V-120V) 高 (91V-117V) 機能メニューに戻る 	普通	UPS がバッテリモードに切り替わる電圧範囲を指定します。地域の AC 商用電源の品質に従って、3 つの異なる電圧範囲を選択出来ます。 商用電源が安定しない場合、弱(85V-123V)を選択します。UPS は商用電源の変動に対応し、あまり頻繁にバッテリモードに切り替わりません。 商用電源が安定している場合、高(91V-117V)を選択します。

最大出力電圧	 *↗=最大 O/P 電圧を微調整する	H117-H123 機能メニューに戻る 	H120	商用電源設定で、3 つの種類の固定電圧のみを選択出来ますが、このオプションでは最大 O/P 電圧を微調整出来ます。 商用電圧が常に高く、接続された機器がこの状態で作動しない場合、UPS が AVR モードまたはバッテリモードに移る頻度が減るように、出力電圧範囲を高く設定出来ます。
最小出力電圧	 *↘=最小 O/P 電圧を微調整する	L85-L91 機能メニューに戻る 	L88	商用電源設定で、3 つの種類の電圧のみを選択できます。しかしながら、このオプションでは最小 O/P 電圧を微調整出来ます。 商用電圧がいつも低くて接続された機器がこの状態で作動しない場合、UPS が AVR モードまたはバッテリモードに移る頻度が減るように出力電圧範囲を低く設定出来ます。

感度		低 中 高 機能メニューに戻る 	中	接続された機器がより多くの高い電源イベントに耐えることが出来る場合(発電機から不安定な入力電圧を受け取る場合など)、低感度を選択して下さい。UPS は頻繁にはバッテリモードに移りません。接続された機器が、電源イベントに対する感度が高い場合、高感度を選択してください。UPS は頻繁にバッテリモードに移ります。
バッテリ不足警告		5-8 分 機能メニューに戻る 	5 分	設定した時間が経過すると、警告音が鳴ります。

セルフテスト		YES 機能メニューに戻る 	NO	商用電源モードで YES を選択すると、UPS のスタートアップ時に自動自己テストが実行されます。
イベント リセット		YES 機能メニューに戻る 	O	このメーターは停電の数を記録します。 YES が選択されている場合、イベントカウンターがリセットされます。 注: 状態表示で「DISPLAY」と「SETUP」ボタンを同時に押しても、イベントカウンターをリセット出来ます。

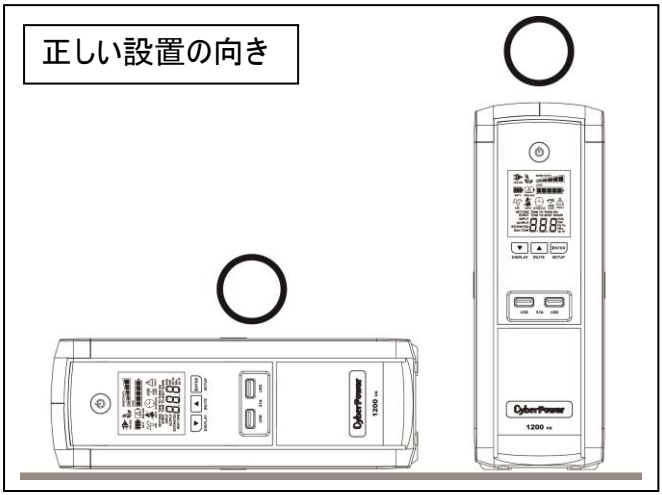
バッテリ 寿命 リセット		YES 機能メニューに戻る 		YES を選択すると UPS は新しいバッテリと交換されたと認識されます。 バッテリ交換マークはバッテリ交換時期になると点灯します。 注意: 「MUTE」と「SETUP」ボタンの同時押しでもバッテリ寿命がリセットされます。
ECO モード		オフ オン 機能メニューに戻る 	オフ	ECO モードが OFF の場合、ECO 出力コンセントは常時通電の状態となります。 ECO モードを ON にすると. アイコンが点滅します。 USB ケーブルで接続された PC の電源が ON 状態であればアイコンが点灯し、ECO 出力コンセントを通電させます。PC の電源が OFF 状態になると ECO 出力コンセントの供給も止めます。

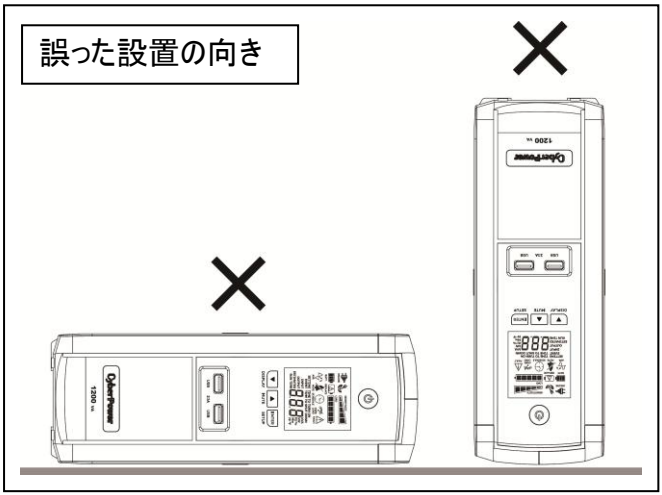
				注：このコンセントはサージ保護のみコンセントでバッテリバックアップはされません。
デフォルト設定に戻る		YES 機能メニューに戻る 	NO	YES を選択すると UPS を初期設定に戻すことができます。
状態表示に戻る		– –	– –	ENTER ボタンを押して、状態表示に戻ります。

4 設置

UPS は縦置き以外に左側面を下にした横置きでも使用可能です。

注意：右側面を下にした横置きは冷却用の通気穴を塞いでしまい機器の熱上昇により故障の原因となります。

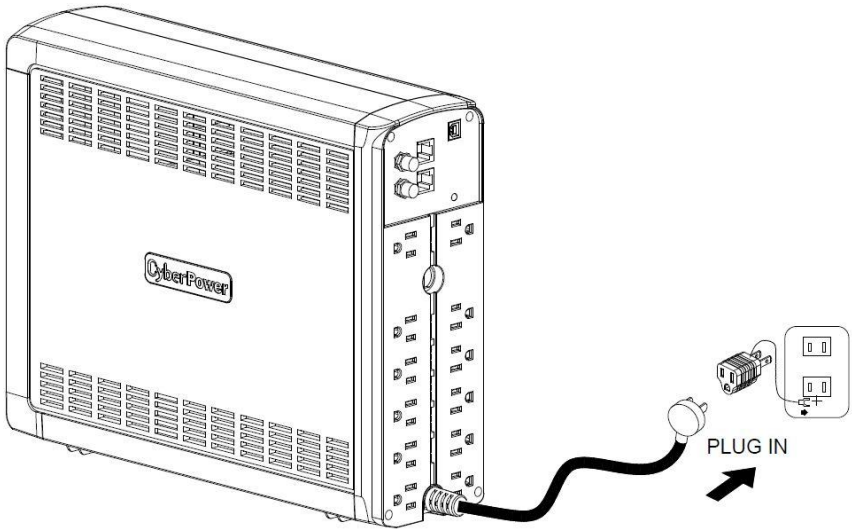




5 接続

1　充電します

UPS は開梱後すぐに使用することが出来ますが、輸送や保管の間に自然放電する場合があります。バッテリをフルに充電しておくために、使用開始前、少なくとも 8 時間以上の充電を推奨します。バッテリを充電するには UPS をコンセント（壁面コンセント）につなぎます。壁面コンセントがヒューズまたはブレーカーで保護されていて、消費電力の大きい機器（空調機、冷蔵庫、複写機など）が接続されていないことを確認して下さい。



2　UPS の出力コンセントに機器を接続します

UPS の電源を OFF にして入力プラグを壁面コンセントから外した状態で、バッテリバックアップを必要とするコンピュータ、モニタ、その他の周辺機器をサージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）に接続します。

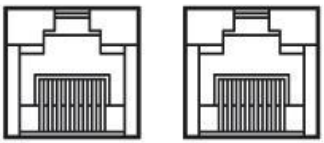
バッテリバックアップ の必要が無い周辺機器（プリンタ、スキャナー、スピーカなど）はサージ保護付スルーコンセント（停電時バックアップしない）に接続します。

レーザープリンタ、ペーパーシュレッダ、複写機、室内暖房機、電気掃除機、排水ポンプなどの大型電気製品は UPS の出力コンセントに差し込まないで下さい。これらの機器の消費電力は過負荷となり UPS や接続した機器に損害を与える場合があります。

⚠ 警告
接続する機器の消費電力の合計が、UPS の定格容量を超えていないことを確認して下さい。UPS の定格容量より使用容量が上回ると、過負荷状態によりシャットダウンまたは UPS 装置のブレーカーが働く場合があります。

3　UPS に通信機器を接続します

保護したい電話機・ファックスのケーブルまたは LAN ケーブルを UPS 通信保護ポートの“IN”に接続し、”OUT”より配線を行うことにより回線を保護します。（RJ11/RJ45 兼用）



4　ソフトウェアのインストールをします

***PowerPanel® Personal Edition 監視ソフトは無料ダウンロードできます。**

http://www.cpsww.co.jp/products/software/pppe.htm にアクセスしてください。

「PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア」をインストールし、UPS とコンピュータを接続することで、電源状態のモニタリングなどを行うことが出来ます。

「PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア」のインストールは UPS とコンピュータを接続する前に行って下さい。

尚、説明画像は本マニュアル作成時のバージョンのものを使用しているため、ウェブダウンロードバージョンと異なる場合があります。

1. 「PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア」をインストールして下さい。
2. インストールプログラムが自動起動してセットアップウィザードが表示されます。

セットアップウィザードが表示されたら「次へ」をクリックして進めて下さい。

3. 使用許諾契約書をよくお読み頂き、内容に御同意頂けましたら「使用許諾契約書に同意します」の先頭の〇をクリックし、「次へ」をクリックして進めて下さい。

4. 「次へ」をクリックして進めて下さい。

5. 「インストール」をクリックするとソフトウェアのインストールが始まります。

6. インストール作業が完了すると下記の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてセットアップウィザードを終了させて下さい。

7. タスクトレイに「PowerPanel® パーソナル版」のアイコンが追加されます。このアイコンをダブルクリックするとソフトウェアが起動します。下記の画面は UPS とコンピュータを接続していませんので、アイコンに！マークが付いています。

8. ソフトウェア起動後の画面です。下記の画面は UPS とコンピュータを接続していませんので、ステータスは不明になっています。

9. 「ヘルプ」をクリックしますと下記の画面が表示されます。画面中央の「ヘルプの表示はここをクリックしてください」の部分をクリックしますと、オンラインヘルプが表示されます。

ソフトウェアの操作につきましてはオンラインヘルプをご参照下さい。

5　UPS とコンピュータを接続します

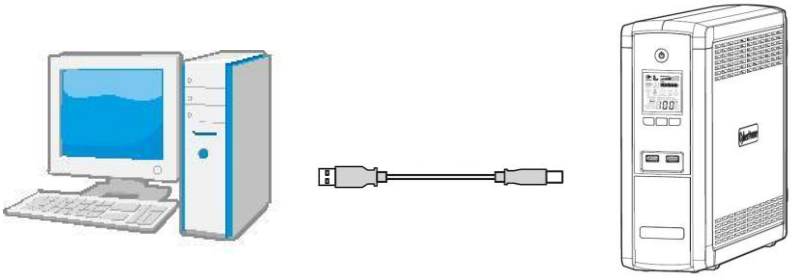
USB ポートを使用して UPS とコンピュータを接続する場合は、USB 接続を行う前に

*PowerPanel® Personal Edition をインストールして下さい。

インストールが完了しましたら、UPS の USB ポートとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続して下さい。

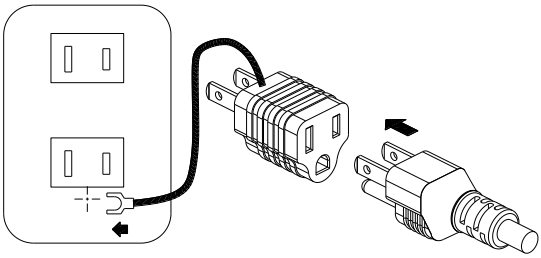
※監視ソフトは無料ダウンロードできます

http://www.cpsww.co.jp/products/software/pppe.htm　にアクセスして下さい。



6 運転

1 UPS をアースのあるコンセント（壁面コンセント）に接続します。壁面コンセントがヒューズまたはブレーカーで保護されていて、消費電力の大きい機器（空調機、冷蔵庫、複写機など）が接続されていないことを確認して下さい。



アースに接続します

2 UPS の電源スイッチを押して下さい。パワーオンインジケーターが緑に点灯し、短いビープ音が数回鳴ります。

過負荷が検出されると、警報音として長いビープ音が 1 回鳴ります。この状態を解消するには、電源スイッチを押して UPS を OFF にして、サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）に接続されている機器を減らして下さい。

3 バッテリを最適な状態で使用するためには、UPS を常時壁面コンセントに接続しておいて下さい。

4 UPS を停止する場合には UPS に接続した全ての機器の電源を OFF にし、UPS の電源スイッチを押して UPS をオフにして下さい。パワーオンインジケーターが消灯し、UPS が停止します。

5 UPS を長期間保管する場合は、カバーをかけ、バッテリを完全充電した状態で保管して下さい。保管期間中はバッテリの寿命を保つために半年毎に 24 時間のバッテリ充電をして下さい。

警報について

給電モード	警報	状態
商用電源	OFF	正常
バッテリ	30 秒毎に 2 回のビープ音	停電：UPS のバックアップコンセント（停電時バックアップする）から電気を供給しています。
バッテリ	0.5 秒毎に速いビープ音	停電：バッテリからの給電がまもなく切れることを示しています。
商用電源/バッテリ	長いビープオン	過負荷：UPS のバックアップコンセント（停電時バックアップする）に接続された機器が容量を超えています。接続機器を減らして下さい。

7 バッテリ交換

1　バッテリの交換をする前に交換用バッテリを用意して下さい。
　交換用のバッテリについては後述の「仕様」の項目を確認して下さい。

2　電源をオフにして、接続された全ての機器のプラグを抜きます。

3　UPS の電源をオフにし、AC 電源からそのプラグを抜きます。

4　UPS を寝かせます。

5　保持ねじを取り外します。

6　前面パネルを装置からスライドさせながら取り外します。

7　バッテリを引き出します。

8　バッテリからバッテリワイヤを外します。

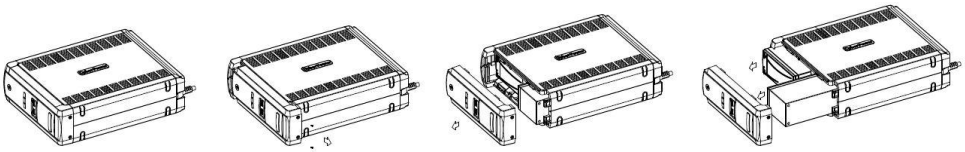
9　赤と黒のケーブルを交換用バッテリから出る同じ色のケーブルに接続して取り付けます。

10　バッテリを本体に戻します。

11　前面パネルをスライドさせながら元に戻し、保持ねじを締め付けます。

12　バッテリが完全に充電されるまで、UPS を 8～16 時間コンセントに接続しておきます。

※ホットスワップで交換の場合、2. 3 を省略して UPS 電源 ON のまま交換して下さい。



8 故障かな？と思ったら

本装置を使用するにあたり、故障かな？と思ったら以下の項目について確認を行って下さい。
問題が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談の上、修理をご依頼下さい。

1　サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）の電気供給が停止し、ブレーカーが飛び出た状態になっている。

原因：過負荷によりブレーカーが働いた。

対策：電源スイッチを押して UPS をオフにして、サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）に接続されている機器を減らして下さい。
上記の状態でしばらく放置した後、ブレーカーを押し戻して下さい。

2　UPS の最大運転時間が期待時間を下回っている。

原因：バッテリの充電が不十分。

対策：出力コンセントに接続している全ての機器を外し、24 時間のバッテリ充電をして下さい。

原因：バッテリが劣化している。

対策：バッテリの充電を行い、改善されない場合はバッテリの交換をして下さい。

3　UPS の電源が ON にならない。

原因：電源スイッチの急な ON、OFF 操作による損害を防止するよう設計されています。

対策：10 秒以上待ってから電源スイッチを押して、UPS をオンにします。

原因：UPS が正常なコンセントに接続されていない。

対策：UPS は電圧 100V、周波数 50Hz/60Hz コンセントに接続して下さい。

原因：バッテリが劣化している。

対策：バッテリの充電を行い、改善されない場合はバッテリの交換をして下さい。

4　PowerPanel®パーソナル版ソフトウェアの全てのアイコンがグレー表示（非アクティブ状態）になっている。

原因：UPS とコンピュータが接続されていない。

対策：USB ポートを使用して UPS とコンピュータ を接続して下さい。

原因：バッテリの電気が供給されていない。

対策：コンピュータをシャットダウンしてから、電源スイッチを押して UPS を OFF にします。その後、10 秒以上待ってから電源スイッチを押して UPS を ON にします。これで UPS をリセット出来ます。

9 仕様

仕様

型番	CPJ1200
容量	1200VA / 720W
入力電圧	初期設定:下限 88V - 上限 120V 下限設定範囲値:下限 85V - 上限 91V 上限設定範囲値:下限 117V - 上限 123V
入力周波数	50/60 Hz +/- 3 Hz
バッテリ出力電圧	100Vac +/-5%
転送時間	10ms以下
サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）の最大負荷（6 コンセント）	1200VA / 720W
サージ保護付コンセントの最大負荷（6 コンセント）	12A
バッテリの出力波形	正弦波
使用環境温度	0℃ - 40℃
使用環境相対湿度	0 - 95%（無結露）
外形寸法（長さ x 幅 x 高さ）	356 x 99 x 279 mm
重量	11.41kg
バッテリタイプ	RBP0122
標準バッテリ充電時間	8 時間
標準バッテリ寿命	6 年（25℃期待値）
交換用バッテリ	CyberPower Webサイトを参照してください
安全規格	VCCI Class B

期待動作時間一覧表

モデル	50W	100W	200W	300W	400W	500W	600W	700W
CPJ1200	120 分	63 分	30 分	19 分	13 分	9 分	7 分	5 分

10 省エネルギー技術 GreenPower UPS™&Active PFC 対応

CyberPower の環境への取り組み

CyberPower は、グリーン製品（環境に配慮した製品）の開発に注力しており、事業を通じて、クライメートセーバーズコンピューティングイニシアチブ(CSCI)にメンバーとして参加、特定有害物質使用制限指令(RoHS)、廃電気電子機器指令(WEEE)製品、及び ISO 14001 や IECQ QC080000 などへの準拠を含む、環境への取り組みを心がけています。CyberPower は、環境に優しい先進的なエネルギーソリューションを提供し、環境にやさしい企業として UPS 業界を主導することをお約束します。

GreenPower UPS™テクノロジでエネルギーコストを削減

CyberPowerは、単に環境にやさしい製品を提供するのではなく、消費者に最高の価値をもたらすことを目標としています。高度な省エネ設計は、運転率を向上させ、無駄なエネルギー消費を排除します。つまり、GreenPower UPS™テクノロジを採用することで、消費者はエネルギーコストを大幅に抑えることが出来ます。

Active PFC対応

アクティブPFC電源は従来の電源に比べてより良い力率で電力を効率的に使用しています。このUPSはアクティブPFC電源を搭載したパソコンでも電源バックアップとしてご使用頂けます。

11 保証規定

本保証規定は株式会社サイバーパワー・ジャパンより日本国内に出荷された製品を、保証期間内の正常な使用状態において故障したと認められた場合に限り、弊社の定める方法にて無償修理対応を行うものです。

1　保証期間

保証期間は お買い上げ日より 36 ヶ月間 です。
保証をお受けになる場合は弊社の発行する保証書と、製品型番、お買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明が必要となります。
並行輸入品、中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された製品は保証対象外とさせて頂きます。

2　保証内容

保証期間内の正常な使用状態において故障したと認められた場合、弊社の定める方法にて無償修理対応を致します。
修理が難しいと判断をした場合は同製品または同等製品との交換とさせて頂く場合が御座いますのでご了承下さい。
修理依頼にかかる送料は、発送時はご依頼主様の元払い、返却時は弊社の元払いとさせて頂きます。
修理預かり期間中の代替品出荷や貸し出しは出来兼ねます。
故障した製品の原因追及や解析等の調査は出来兼ねますのでご了承下さい。

3　保証対象

保証対象はお買い上げ頂いた製品単体の保証となります。

製品に接続している機器やデータ、記録、ソフトウェア等を含むその他の製品の保証をするものでは御座いません。

又、後述する保証対象外事項 1 項目でも該当する場合は、保証期間内であっても理由を問わず保証対象外とさせて頂きます。

4　保証対象外事項

保証期間内であっても下記項目に 1 つでも該当する場合は、理由を問わず保証対象外とさせて頂きます。

- ・製品型番、お買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明が出来ない場合
- ・並行輸入品、中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された場合
- ・株式会社サイバーパワー・ジャパンより出荷された製品と確認出来ない場合
- ・説明書やマニュアル等に記載されている内容と異なる接続方法や使用方法により発生した故障や損傷の場合
- ・他の製品との組み合わせにより発生した相性等の不具合や故障、損傷の場合
- ・お使いのコンピュータの設定や環境等に起因する不具合や故障、損傷の場合
- ・輸送、移動、設置時の落下や衝撃等による損傷があった場合
- ・正常な使用状態だったと判断できない消耗や損傷があった場合
- ・製品の仕様に適合しない機器を接続したことにより発生した故障や損傷の場合
- ・弊社以外での分解、改造、調整、部品交換、修理等をした場合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災や異常電圧等による故障や損傷の場合
- ・弊社より出荷された製品と確認できない場合
- ・製品にシリアル番号が貼付されていない場合

・購入履歴やシリアル番号等が汚損等により確認できない場合や改竄の形跡が認められる場合

・日本国外で使用した場合

5　免責事項

製品の運用または製品の運用不能に起因する損害(接続している他の機器の損傷、事業利益の損失・事業の中断・事業情報の損失、逸失利益やその他の金銭的損害を含む)については、弊社では一切の責任を負わないものとします。

本保証規定は予告なしに変更をすることがありますが、適用する保証規定は お買い上げ日の時点で有効な保証規定とします。

2015 年 8 月制定

株式会社サイバーパワー・ジャパン

12 保証書

次のページの保証書に必要事項をご記入の上、製品型番、買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明とあわせて大切に保管して下さい。

不具合品について、http://www.cpsww.co.jp/RMAClaimSheetClient/rma_jp.aspx よりご連絡下さい。

13 安全規格適合宣言

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ＶＣＣＩ－Ｂ

保 証 書

製品型番	CPJ1200
保証期間	36ヶ月
お名前	
ご住所　〒	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
お買い上げの販売店	
お買い上げ日（年月日）	
シリアルナンバー	

株式会社サイバーパワー・ジャパン
〒102-0071
東京都千代田区富士見 2-3-1
信幸ビル 3F
TEL: (03) 5357-1389
FAX: (03) 5357-1390
www.cpsww.co.jp

MEMO

CyberPower®
Reliability. Quality. Value.